

## 若者をはじめ幅広い世代で 明るい選挙で未来に1票を

「今夏から選挙権年齢が18歳以上に引き下げられることをきっかけに、若い人たちにもっと選挙や政治に関心を持っていただき、ぜひ投票していただきたいと思います」と語るのは、町選挙管理委員会委員



益田 信篤さん  
Masuda Nobuatsu

〔下田口区〕

ますだ のぶあつ / 町選挙管理委員会委員長。今年1月から同職を務め、町の選挙事務や最高裁判所裁判官の国民審査事務などを執り行う。

長を務める益田信篤さん（下田口区）。選挙管理委員会には市町村などに設置される行政委員会の1つで、選挙を管理する機関。同委員会は4人の委員で組織され、委員は当該自治体の選

挙権を有する者で、人格が高潔で政治や選挙に関して公正な識見を有するものの中から、議会における選挙で選ばれる。益田さんは今年1月に選挙委員長となり、任期4年にわたり町の選挙などに関する事務などを執り行う。「本町だけでなく、全国的に選挙での投票率が下がっている傾向にあります。選挙権年齢の引き下げで、若い人た

ちにも社会の一員であり担い手であることへの意識と責任を持っていただきたいです」と、若い力に期待する益田さん。「これから若い皆さんは、就職して社会に出たり、結婚したり家庭ができて子どもができたりするなど、歳を重ねることに責任を追うことになります。日々が忙しいと選挙や政治に関心を持つのは難しいものです。しかし、身近なことから問題意識を持って、ニュースやメディアなどから積極的な情報を取り入れ、世の中の問題について考えて大切な1票につなげてほしいです」と投票を呼び掛ける。

「また、若い人たちだけでなく、幅広い世代の人たちが選挙への関心が高まるように普段から社会のことなどを話し合うなど、皆さんに心掛けていただけたら」と希望する。今月27日（日）は熊本県知事選挙、夏には参議院選挙が行われる。益田さんは、「選挙管理委員会4人で協力して、明るい選挙が執り行われる環境づくりを進めたい」と、未来へと続く選挙での投票を促す。